



診療技術部だより

令和6年7月

Vol.30 医療技術科(歯)



今回の診療技術部だよりの担当は医療技術科(歯科衛生士)です。

今回は歯科口腔外科で実施している「薬剤関連顎骨壊死の予防」について紹介します。一部の薬剤の副作用として顎の骨が壊死＝顎骨壊死を起こす可能性があり、一度発症すると非常に難治性であるため、投薬前に口腔管理を行い、顎骨壊死の発症リスクを下げておくことが重要です。

薬剤関連顎骨壊死とは

骨粗しょう症の治療に用いる骨吸収抑制剤や、がんの骨転移治療に用いる薬を使用している場合に生じるまれな合併症として薬剤関連顎骨壊死があげられます。

顎骨壊死を発症する確率は、内服薬と比較して注射薬のほうがより発症リスクが高いとの研究結果も出ています。



骨露出
排膿
疼痛

顎骨壊死の危険を伴う骨吸収抑制薬

がん骨転移治療に用いるもの

ゾメタ注® ランマーク注®



骨粗しょう症治療に用いるもの

ブラリア注® イベニティ注® リクラスト注® ポンピバ注®
ボナロン® フォサマック® アクトネル® ベネット®
ダイドロネル® リセドロン酸® リカルボン® ポノテオ®
ポンピバ錠® パミドロン酸®



令和5年4月5日作成

投薬前に行う口腔管理

口腔内が不潔な状態であると、顎骨壊死を発症する可能性が高くなるため、骨吸収抑制剤の投与前から定期的な歯科受診やブラッシング指導、歯石の除去、入れ歯の調整、保存不可能な歯の抜歯などの処置を受けておくことが重要です。

①お口のチェック

むし歯や歯周病など悪いところがないかチェックします。抜歯が必要な場合には、主治医の先生と相談し抜歯を行います。



②歯石除去や歯のクリーニング

歯科衛生士がお口の中のクリーニングを行います。歯石を専用の機械でとることにより、細菌数を減らし、汚れが付きにくい状態にします。



縁上歯石除去前

除去後

③抜歯

抜歯が必要な場合には、主治医の先生と相談し抜歯を行います。



④入れ歯の確認・調整

入れ歯をご使用の方は、定期的に入れ歯の調整を歯科医院で行いましょう。入れ歯が合っていない場合、お口の中の骨に負担がかかり、顎骨壊死を発症する可能性があります。また、ブラシや洗浄剤を使用し、入れ歯を清潔に保ちましょう。



⑤歯みがき方法の確認

患者さんご自身のブラッシングにより、お口の中を清潔な状態に保つことが大切です。お口の中が不潔な状態であると、細菌が繁殖・感染しやすくなり顎骨壊死の発症リスクが高くなります。定期的に歯科医院を受診し、歯磨き方法の確認を行いましょう。



(歯科衛生士 北澤 美幸)
次回は 医療技術科(視能訓練士)です